

市民の思いに応え、均衡あるまちづくりに注力

# 池上優徳

## 福井市議会議長

### 行政と住民、その橋渡し役に

福井市議会は5月の臨時会において一真会の池田優徳氏を第80代新議長に選任した。代議士秘書を経て地元発展に身を投じたいと市議選に立候補、現在3期目となる。政治力、発信力ともに備わった気骨ある議長誕生に、議会の牽引者として期待がかかる。



第80代福井市議会議長  
池上優徳氏

Q 最大党派一真会の議長経験者として7人目ですね。議員31名を束ねるトップとして抱負をお聞かせください。

新幹線開業を迎え福井の未来発展に大きな期待がかかり、市の果たす役割は大変重要だ。市民の思いに応え、子々孫々に恥じない議会運営を果たしたいと思っている。

今年度は熊本市との姉妹都市提携30周年に当たり議員を招き提携内容の再確認を行い、熊本市へも訪問し交流を図りたいと思っている。

Q 政治家を志したきっかけは平成24年から3年ほど稲田

朋美衆院議員の秘書を務めた。当時の稲田さんは保守の論客として結構活躍していたが、どこで間違えたのか。そんなはずではなかったという思いも無きにしても有らすが、政治の勉強をさせていただき、いろいろな意味できっかけを作ってもらい感謝している。

市議選に出馬を決めたのは、人間力、地域力、家族力の3つの力、特に失いかけた地域力を復活させようと。このまま地元が疲弊していくのを黙って見ていられない。自分1人が頑張ったところで何も変わらないかもしれない。でも、